

☆RIM ASIA PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 6490 July 01, 2013

Copyright (c) 2013 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

—Tokyo, 20:00 JST 01 Jul 2013

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

#### ◎編集部からのお知らせ

##### ○アセスメント変更

リム情報開発は、8月1日付から、CFR JAPAN MR CARGOES のアセスメント対象を一部変更いたします。詳細は下記の通り。

\*CFR JAPAN MR CARGOES

F0 180cst 3.5%S → F0 380cst 3.5%S

##### ○「電力レポート」復刊

リム情報開発は7月1日、「電力レポート」を復刊しました。

スポット市場の市況動向を中心に、当社が得意とする燃料価格も取り入れながら、デイリーレポートとして発信します。また、レポート発行に合わせ、4月から無料で発信して参りました「電力ニュース」も8月以降は有料にさせていただきます。今後もタイムリーなニュース発信に努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

リム情報開発株式会社 電力チーム(本間、戸塚)まで。

電話：03-3552-2411 E-mail：info@rim-intelligence.co.jp

##### ○ポリオレフィンレポート発刊のお知らせ

リム情報開発は、オレフィン、ポリオレフィンの情報に焦点を絞った「ポリオレフィンレポート」を5月に発刊いたしました。原油、ナフサからアロマティクスや合繊原料に至るまで多岐にわたる石油化学製品をカバーした「石油化学レポート」の配信を通じて蓄積した情報網をベースに、より内容を絞ったサービスを提供してまいります。1カ月の購読料は16,800円(税込)です。詳細は石油化学チームまで。

Tel:03-3552-2411

Email:info@rim-intelligence.co.jp

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。

サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ジャパン石油製品](#) [ローリーラック](#)

[石油化学](#) [RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#) [LPG](#)

**◎FOB SINGAPORE CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	-Physical-	-Premium-
Mogas 97RON	+ 120.20-120.30 +	28.30/ 28.40*
95RON	+ 116.90-117.00 +	25.00/ 25.10*
92RON	- 112.90-113.00 -	21.00/ 21.10*
Naphtha	- 92.15- 92.25 -	0.05/ 0.15
Jet/Kerosene	- 116.60-116.70 -	0.50/ 0.60
Gasoil 0.001%S	- 120.75-120.85 -	2.40/ 2.50
Gasoil 0.05%S	- 120.35-120.45 -	2.00/ 2.10
Gasoil 0.5%S	- 118.65-118.75 -	0.30/ 0.40
FO 180cst 3.5%S	- 606.00-607.00 -	7.00/ 8.00
FO 380cst 3.5%S	- 584.00-585.00 -	-1.00/ 0.00

**◎SINGAPORE PAPER SWAPS (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	Jul	Aug	Sep
Naphtha	- 91.85- 91.95 -	- 91.30- 91.40 -	- 90.80- 90.90 -
Jet	- 116.05-116.15 -	- 115.75-115.85 -	- 115.70-115.80 -
Regrade	- -2.30/ -2.20 -	- -0.90/ -0.80 -	- -0.30/ -0.20 -
Gasoil 0.05%S	- 118.30-118.40 -	- 116.60-116.70 -	- 115.95-116.05 -
FO 180cst 3.5%S	+ 598.75-599.25 +	- 593.50-594.00 -	- 593.50-594.00 -
FO 380cst 3.5%S	- 584.75-585.25 -	- 586.50-587.00 -	- 586.50-587.00 -

**◎SINGAPORE CRACK MARGINS (Against Dubai Crude Oil, in \$/bbl)**

	Jul	Aug	Sep
Naphtha	-7.86	-7.98	-8.05
Jet	16.34	16.47	16.85
Gasoil	18.59	17.32	17.10
FO 180cst	-7.61	-7.98	-7.55
FO 380cst	-9.76	-9.06	-8.63

**◎FOB SOUTH KOREA CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	MR Cargoes	-Premium-
Mogas 92RON	- 113.05- 113.55 -	0.10/ 0.60*
Jet/Kerosene	- 116.10- 116.20 -	0.00/ 0.10
Gasoil 0.001%S	- 118.55- 118.65 -	0.20/ 0.30
Gasoil 0.05%S	- 117.95- 118.05 -	-0.40/ -0.30
Gasoil 0.2%S	- 117.15- 117.25 -	-1.20/ -1.10
Gasoil 0.5%S	- 115.75- 115.85 -	-2.60/ -2.50
FO 380cst 3.5%S	- 587.00- 588.00 -	2.00/ 3.00
LSFO 0.3%S	+ 679.00- 689.00 +	80.00/ 90.00***

	SR Cargoes	-Premium-	CFR Japan Parity#
Mogas 91RON	- 114.45- 114.95 -	1.50/ 2.00*	77,750
Kerosene	- 117.10- 117.60 -	1.00/ 1.50	78,836
Gasoil 0.001%S	- 119.05- 119.15 -	0.70/ 0.80	80,345
AFO	- 117.25- 117.45 -	-1.10/ -0.90**	76,200
LSAFO	- 117.85- 118.05 -	-0.50/ -0.30**	76,579
LSFO 0.3%S	+ 689.00- 699.00 +	90.00/100.00***	

\*Premium to FOB Singapore Mogas 92RON

\*\*Premium to FOB Singapore Gasoil 0.05%S

\*\*\*Premium in density at 0.95

# in Yen/kl, Basis Nagoya

**SR Clean Tanker Freight Rates (\$/bbl)**



Korea to Tomakomai	3.80-4.00	Korea to Keihin	3.50- 3.70
Korea to Nagoya	3.20-3.40	Korea to Kanmon	2.80- 3.00

**◎FOB TAIWAN CARGOES (in \$/bbl)**

	MR Cargoes		-Premium-
Jet/Kerosene	- 116.50- 116.60 -		0.40/ 0.50
Gasoil 0.001%S	- 118.70- 118.80 -		0.35/ 0.45
Gasoil 0.05%S	- 118.35- 118.45 -		0.00/ 0.10
Gasoil 0.2%S	- 117.55- 117.65 -		-0.80/ -0.70
Gasoil 0.5%S	- 116.15- 116.25 -		-2.20/ -2.10

**◎CFR CHINA CARGOES**

(FO in \$/mt, Others in \$/bbl) (Yuan/mt) (Yuan/mt)

-Premium- -Import Cost- -Domestic-

**NORTH CHINA**

FO M100 (RUSSIA)	+ 681.00-682.00 +	82.00/83.00	5,927	- 5,750-5,800 -
------------------	-------------------	-------------	-------	-----------------

**EAST CHINA**

Mogas 93RON***	- 114.95-115.05 -	2.00/ 2.10	8,763	8,550-8,600
Gasoil 0.05%S*	- 120.25-120.35 -	1.90/ 2.00	7,625	7,550-7,600

**SOUTH CHINA**

Mogas 93RON***	- 115.35-115.45 -	2.40/ 2.50	8,788	8,600-8,650
Gasoil 0.05%S*	- 120.65-120.75 -	2.30/ 2.40	7,647	7,700-7,750
FO 380cst 3.5%S**	- 598.00-599.00 -	13.00/14.00	5,321	- 4,580-4,630 -

--Exchange rate (MIDDLE Yuan/\$ as of Jul 01) 6.1805

\*Yuan/mt prices for Gasoil include 0% duty, 17% value added tax and Yuan 940.8/mt consumption tax.

\*\*Yuan/mt prices for FO include 1% duty, 17% value added tax and Yuan 812/mt consumption tax.

# China gasoil Domestic prices are of 0.035%S grade.

## China FO Domestic prices are of bunker use grade.

**◎FOB ARABIAN GULF CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

			-Premium-
Naphtha	- 823.75- 824.25 -		20.00/ 30.00
Kerosene	- 113.60- 113.70 -		1.90/ 2.10
Gasoil 0.05%S	- 115.65- 115.75 -		2.80/ 3.00
FO 180cst 3.5%S	- 595.50- 596.50 -		

**◎FOB INDONESIA MIXED/CRACKED LSWR CARGOES (in \$/bbl)**

	-Physical-	-Premium-
LSWR 0.35%S	99.05-99.15	0.00/ 0.50*
Expected PPF	98.80-98.90	

\*Premium to Pertamina Price Formula

**◎CFR JAPAN MR CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

		-Yen/kl-	-Premium-
Naphtha	- 845.25- 848.25 -	59,516	4.00/ 5.00
Aug 2nd-half	- 850.25- 850.75 -		
Sep 1st-half	- 847.75- 848.25 -		
Sep 2nd-half	- 845.25- 845.75 -		
Jet/Kerosene	- 118.20- 118.40 -	74,716	2.10/ 2.30
Gasoil 0.001%S	- 120.85- 120.95 -	76,358	2.50/ 2.60
LSWR 0.2%S	102.80- 102.90	64,958	3.75/ 4.25*
FO 180cst 3.5%S	+ 613.00- 614.00 +	59,137	14.00/ 15.00

LSF0 0.3%S + 694.00- 704.00 + 65,975 95.00/105.00\*\*

--Exchange rate (TTS Yen/\$ as of Jul 01) 100.41

\*Premium to Pertamina Formula

\*\*Premium in density at 0.95

**◎FOB JAPAN MR CARGOES (HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

		-Yen/kl-*	-Premium-
Jet/Kerosene	- 116.10-116.20 -	72,627	0.00/ 0.10
Gasoil CARB DIESEL	- 118.65-118.75 -	74,222	0.30/ 0.40
Gasoil 0.001%S	- 118.35-118.45 -	74,034	0.00/ 0.10
FO 380cst 3.5%S	- 582.00-585.00 -	56,556	-3.00/ 0.00

--Exchange rate (TTM Yen/\$ as of Jul 01) 99.41

\*Yen/kl prices exclude Yen 2,290/kl refund.

**◎ASIA BUNKER PRICES (\$/mt)**

	180cst	280cst	380cst	MDO
Japan*				
Tokyo Bay*	-638.00-641.00--636.00-639.00--628.00-631.00-			910.00- 920.00
West Japan*	-645.00-648.00--643.00-646.00--635.00-638.00-			910.00- 920.00
Ise Bay*	-641.00-644.00--639.00-642.00--631.00-634.00-			910.00- 920.00
#Rim Average-Jul	639.50	637.50	629.50	915.00
S. Korea*	+635.00-638.00++632.00-635.00+		605.00-608.00	900.00- 910.00
Taiwan*	+657.00-657.00+		617.00-657.00+	965.00- 965.00
China*				
Dalian	662.00-665.00	-	-	1,055.00-1,070.00 **
Shanghai	652.00-655.00	-	610.00-613.00	1,045.00-1,060.00 **
Qingdao	662.00-665.00	-	620.00-623.00	1,055.00-1,070.00 **
Hong Kong*				
Singapore*	+613.00-615.00++609.00-610.00+-587.00-589.00-			895.00- 905.00
Bangkok*	639.00-641.00	-	621.00-623.00	990.00-1,000.00

--Note: \*Delivered, \*\*LDO,

#Rim Tokyo Bay average

**◎ASIA PRODUCTS MARKET COMMENTARY**
**○日本向け輸入試算値(前日比、円/kl)**

91RONガソリン(△45)、ナフサ(▼211)、ジェット燃料油(▼204)、灯油(▼192)、硫黄分10ppm軽油(△161)、A重油(△152)、LSA重油(△156)、クラックドLSWR(△530)、硫黄分3.5%重油(△579)、硫黄分0.3%重油(△1328)

**○日本積み輸出試算値(前日比、円/kl)**

ジェット燃料油(▼207)、CARB DIESEL(△147)、硫黄分10ppm軽油(△146)、硫黄分3.5%重油(△178)

**○GASOLINE:**

北東アジア製92RONガソリン(MR船型)はもち合い。7月積みの商談を一段落し、取引対象が8月積みに移行している。ただ、8月積みカーゴの本格商談に取り組むには時期尚早とプレーヤー筋は様子見に徹しており、市場は閑散。しかし、供給増を受け、相場は上値が重い状況とみられている。既報のとおり、北東アジア域内では複数の製油所が7月に定修明けするため、8月積みのスポット輸出余力が上昇している。一方、市場では、東南アジア諸国のガソリン需要が後退時期に差し掛かるとの見方が増えている。アジア域内で、ガソリンの最大輸入国であるインドネシアが、ラマダン時期を終えることにより、輸入量を減らす公算が大きい。また、ベトナムからのガソリンスポット需要もこのところ活発的ではない。国内生産品で対応している部分が多くなっているようだ。

シンガポール積み92RONガソリンの固定価格相場は112.90~113.00ドルと、先週末から90セント下落した。ナフサ先物価格の値下がり相場下落を主導した。7月きりナフサ先物価格は91.90ドルと、先週末を80セント下回った。市況連動相場はナフサの先物市況に対し21.00~21.10ドルのプレミアムと、先

週末から10セント下落した。トラフィギュラは1日、7月27~31日積み5万バレルの92RONガソリンを販売。価格は113.00ドル。買い手はアルカディア。

最新の成約は次の通り

\*7月27~31日・シンガポール積み92RON・5万バレル、トラフィギュラ→アルカディア、113.00ドル

## ONAPHTHA:

アジアのオープンスペック・ナフサの固定価格は845.25~848.25ドルと前日比10ドル反落した。北海ブレント原油市況安に連動した。ただナフサ相場の基調はアジア需要家のスポット買いが活発化し始めていることもあり、ここへきて底堅さが見られる。1日市場では韓国のLGケムが8月前半着カーゴをスポットで購入。また台湾のフォルモサ石化 (FPCC) が8月前半着ヘビーフルレンジ対象にナフサのスポット調達に動いている。

フィジカルのスポット取引は韓国のLGケムが8月前半デサン着対象にMR船型のオープンスペックグレード(パラフィン含有70%以上)カーゴを購入した。価格はカーゴ到着の30日前の評価でスポットの日本市況に対し約1.5ドルのプレミアムとなった。韓国向けナフサの直近成約は6月26日に、ロッテ・ケミカルズが8月前半着のMR船型のオープンスペックグレードカーゴを同2ドル近辺のプレミアムで購入した。韓国向けナフサの成約プレミアムはここ2週間ほど大きな変化がなく底値を打った感がある。LGケムの前回スポット買付けは7月後半着カーゴをカーゴ到着の30日前の評価でスポットの日本市況に対し約50セントのプレミアムで調達した。

台湾フォルモサ石化 (FPCC) が8月前半着対象にヘビーフルレンジナフサのスポット買付けに動いているもよう。FPCCは購入したナフサをスプリッター装置でライトとヘビーナフサに分離し、前者ライト品をナフサスプリッター用燃料に使う。後者はリフォーマーに投入してガソリン生産を拡大する見通しだ。FPCCは6月25日に、7月16日~8月15日麦寮(マイリャオ)着対象に石化燃料のフルレンジナフサ合計15万トンを買付けた。価格はスポットの日本市況に対し1ドル前後のプレミアムとなった。同社は6月13日にも7月1~31日着フルレンジナフサ6~9万トンを買付けた。FPCCは6月前半から同社ナフサクラッカー3基(エチレン年産293万トン)の平均稼働率を90%に引き上げるなど、ナフサの使用数量が徐々に増えている。液化石油ガス(LPG)の割安感が解消されたこともFPCCのナフサ使用増の背景だ。一方エチレン増産はFPCCグループ企業である南亜プラスチックMEGプラントの再開日が確定した影響が大きい。同プラントは7月11日に再開される。南亜プラスチックMEGプラントは定修中の故障を背景に4月から停止している。FPCCはナフサクラッカーがフル稼働で操業されるときには、半月ごとに20万トン前後のナフサをスポットで購入していた。

指標となるインターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油相場はアジア時刻時間で、9月が前日比1.08ドル安の101.73ドルに反落した。オープンスペック・ナフサ相場は8月後半着が850.25~850.75ドル、9月前半着が847.75~848.25ドル、9月後半着が845.25~845.75ドルとなった。アウトライト取引はグレンコアが9月前半着カーゴを丸紅に848ドルで販売した。

タイミング・スプレッドの相場は8月後半/9月後半スプレッドが5ドルのバックワーデーションとなった。これは前日と同水準となる。ナフサ価格とブレント原油価格とのクラックスプレッドは9月ブレント/9月前半ナフサがトンあたり85ドルのナフサ高となった。前日比で約2ドル下落した。

インド石油天然ガス公社(ONGC)が7月30~31日インド東岸ハジラ出しナフサ3万5,000トンの販売入札を開示した。入札の締め切りは現地時間7月3日午前9時30分、価格の有効期限は同4日午後6時30分に予定されている。

同国マンガロール石油精製化学(MRPL)が8月6~8日ニューマンガロール出しナフサ3万5,000トンの販売入札を開示した。入札の締め切りは現地時間の7月3日午前9時30分、価格の有効期限は同4日午後6時30分に予定されている。MRPLの前のナフサ販売入札は7月28~30日積み3万5,000トンが丸紅にスポットの中東市況に対し26ドルのプレミアムで落札された。

北西ヨーロッパ(NWE)のナフサ・スワップ相場はアジア時間で、7月が前日比6.5ドル安の822~824ドルに反落した。8月と9月の価格はそれぞれ817~819ドル、812.5~814.5ドルとなった。アジア/NWEのナフサ・スプレッドは9月前半アジア/8月NWEが30ドルのアジア高となった。

最新の成約は次のとおり。

\* 9月前半着カーゴ: グレンコア→丸紅、848ドル

\* 8月前半/9月前半スプレッド: 出光/伊藤忠商事、4.5ドル

\* 8月前半韓国デサン着のMR船型のオープンスペックカーゴ: トレーダー→LGケム、スポット日本市況+1.5ドル

#### ○JET/KEROSENE:

北東アジア製ジェット燃料油(MR船型)の市況連動相場は横ばい。取引は8月積みカーゴの商談が本格化しつつある。供給引き締めを受け、市場の基調は強含んでいる。一部には、「7月積みカーゴより高い市況連動相場取引される」(市場関係者)との指摘が聞かれた。中国航油(CAO)が先に実施した、7月後半～8月分のジェット燃料油の買付け入札は、一部のカーゴが、FOBでシンガポール市況に対し小幅ディスカウントで落札されたとの情報が伝えられた。詳細は不明。前回入札の落札価格は、同市況に対し30セント程度のディスカウントだった。一方、台湾のフォルモサ石化(FPCC)は1日、8月10～16日積み30万バレルのジェット燃料油の販売入札を開示した。応札の締め切り、応札価格の有効期限は2日。同社は、追加の販売入札を開示するか現時点では決めていない。

シンガポール積みジェット燃料油の固定価格相場は116.60～116.70ドルと、先週末から1.30ドル落ち込んだ。先物価格の下落に連動した。7月きり先物価格は116.10ドルと、先週末を1.30ドル下回った。市況連動相場は先物市況に対し50～60セントのプレミアムと、前日からもち合った。ビートルは1日、7月22～26日積み10万バレルのジェット燃料油の販売に動いた。売唱えは先物市況(7月のバランス)に対し55セントのプレミアム。追随する買い手はいなかった。

インドのマンガロール石油精製化学(MRPL)は、8月11～13日ニューマンガロール積み4万トンのジェット燃料油の販売入札を開示した。応札の締め切りは7月3日、応札価格の有効期限は4日。

#### ○GASOIL:

北東アジア製0.05%S軽油(MR船型)の市況連動相場は横ばい。取引の中心は8月積みカーゴに移行している。このなか、相場には天井感が強まっている。需給の引き締めりが緩和される見通しのためだ。北東アジアの石油会社による8月積み0.05%S軽油のスポット供給予定量が、7月積みより増えている。台湾フォルモサ石油化工(FPCC)は1日、8月26～30日積み0.05%S軽油48万バレルの販売入札を開示した。応札の締め切りおよび価格の有効期限は2日。また、台湾中油(GPC)も8月積みではスポット輸出余力があるという。ただ、今のところ製油所の生産計画が固まらず、数量および品質などは確定されていないようだ。さらに、韓国の石油1社も8月後半積みMR船型1カーゴのスポット販売を予定しているもよう。また、ブラジル国営ペトロブラスが、8月中旬に南西石油積みMR船型1カーゴのスポット販売を計画していることは既報のとおりだ。一方、需要は減少に向かう見通しが強い。アジア域内の需要には大きな変化がみられないものの、中東地域など域外向けの需要減が懸念されている。中東地域では、8月は夏場需要のピークを終え、発電燃料用などの軽油需要が減少する可能性がある。

中国華南着・0.05%S軽油(MR船型)の市況連動相場は、シンガポール市況(0.5%S)に対し2.30～2.40ドルのプレミアムと、先週末から変わらず。華南地区の0.035%S軽油の国内価格(一次基地出し)はトンあたり7,700～7,750元と、前日からもち合った。

シンガポール積み0.05%S軽油の固定価格相場は120.35～121.35ドルと、先週末から1.15ドル沈んだ。先物価格が値下がりしたうえ、プレミアム下落が相場を一段と下押した。7月きり先物価格は118.35ドルと、先週末を75セント下回った。市況連動相場は先物市況に対し2.00～2.10ドルのプレミアムと、先週末から40セント下落。ビートルは1日、7月26～30日積み15万バレルの0.05%S軽油の販売に動いた。売唱えは、先物市況(7月のバランス)に対し1.50ドルのプレミアム。グレンコアは、7月19～23日積み25万バレルを1.90ドルのプレミアムで買唱えた。

インドのマンガロール石油精製化学(MRPL)は、7月26～28日ニューマンガロール積み4万トンの0.25% または0.05%S軽油の販売入札を開示した。応札の締め切りは7月3日、応札価格の有効期限は4日。

#### ○LSWR:

インドネシアのクラックドLSWRのFOB固定価格は前日と同値に維持された。足元の需要不振が相場の

上昇を抑える格好となった。

スポットの取引は総じて振るわない。日韓の輸入が低水準となっていることが背景だ。両国とも他の燃料に比べ著しく割高な低硫黄重油の使用を最小限に抑えている。また日本は石炭火力発電所の新設や液化天然ガス使用の拡大に節電効果も加わって、低硫黄重油の消費が増えていないという。最大手電力会社の東京電力は2013年度(2013年4月～2014年3月)期の低硫黄重油の需要見通しを約600万キロリットルと想定している。このうちの60%を冬場12月～2月分の使用として計画している。当初から「夏場7～8月の消費予定は多くない」(大手日本商社)という。実際、京浜着対象の低硫黄重油のスポット輸入は7月着以降も現時点で非常に少ない。

7月28日～8月8日積みに適用されるプルタミナの価格フォーミュラ (PPF) 推定値は前日並みの98.85ドルとなった。市況連動相場は前日から横ばいとなりPPFに対しフラット～50セントのプレミアムとなった。1日時点で算出されるインドネシア積みクラックドLSWRの価格は99.05～99.15ドルとなる。

## OFUEL OIL:

日本着0.3%S重油(MR船型)市況連動相場は、シンガポール市況(180cst)に対し95.00～105.00ドルのプレミアムと、先週末からもち合った。元売り1社が7月末～8月初旬着の0.3%S重油カーゴの買付けに動いているもよう。現時点で、成約に関する情報は寄せられていない。夏場の電力需要期に入るものの、重油のスポット需要が急上昇する気配はみられない。また、供給カーゴも十分にあると見られ、買い手はカーゴ調達に急ぐ必要はないようだ。一方で、売り手は需要期に価格を落としての販売には躊躇している。このため、8月着カーゴ価格が7月着カーゴ価格のCFRで同市況に対し100ドル前後のプレミアムからさらに弱含むことはないのではないかとの見方も出ている。フォルモサ石油化工 (FPCC) は、7月18～20日積みのエチレン製造装置のボトム油(硫黄分0.15%、密度1.04付近)1万トンの販売入札を実施している。応札の締め切りと価格の有効期限は3日。

中国華南着・3.5%S重油(LR船型、シンガポール製)の市況連動相場は、シンガポール市況に対し13.00～14.00ドルのプレミアムと、先週末から横ばい。広東省・黄埔地区の重油価格はトンあたり4,580～4,630元と、先週末から70元下落した。この価格は輸入コストを716元(バレルあたり115.88ドル)下回る。一方、上海期貨交易所の上海8月きり重油価格は4,986元と、先週末から同値を維持。

シンガポール積み180cst重油の固定価格相場は606.00～607.00ドルと、先週末から9.00ドル後退した。先物価格は値上がりしたものの、プレミアム下落が相場を下押した。7月きり先物価格は599.00ドルと、先週末を1.00ドル上回った。市況連動相場は先物市況に対し7.00～8.00ドルのプレミアムと、先週末から10.00ドル大幅下落。急速な需給緩和感の台頭が弱材料となった。

## ◎ASIA BUNKER MARKET COMMENTARY

### ○JAPAN:

日本のバンカー重油相場は380cstが京浜で628～631ドルと先週末比5ドル安、西日本で635～638ドルと同3ドル安にそれぞれ反落した。シンガポール重油市況安を受けた。380cst売唱えは京浜で628～636ドル、西日本で635～642ドルが聞かれた。引合いは低調で京浜、西日本ともに380cst200～300トンが中心となっているもよう。このため、一部売り手は引合いによりオファーを数ドル下げて対応可能なもよう。一方で、取引時間の後半に原油価格が上げ幅を広げたため、一部売り手はオファーを引き上げて様子見に徹している。

リム・バンカー重油相場(京浜)の7月月間平均推定値は380cstが1日時点で629.5ドルとなった。これは先月より15.1ドル安となる。

石油連盟によると、5月の外航船向けボンド・バンカー (BC重油) 販売は前年同月比12.2%減の3万2,549キロリットルとなった。前月比でも2.4%減となる。

### ○SOUTH KOREA:

韓国の380cst相場は605～608ドルと先週末と同値で推移した。GSカルテックスは380cstを先週末比2ドル安となる605ドルで売り唱えた。シンガポール重油市況安を受けて。一方で、S-オイルの売唱えは同1ドル高の606ドルとなった。両社とも比較的安値のオファーで積極的な販売に動いている。一方で、現代石油の売唱えは610ドル、SKエナジーは原油価格の上昇を受け同2ドル高の612ドルとなった。GSカルテックスは1.0%Sを710ドル前後で売り唱えた。

**○SINGAPORE:**

シンガポールのバンカー相場は硫黄分3.5%が380cstで前日比2ドル安の587~589ドルに反落した。380cst重油カーゴ価格の下落に連動した。380cst売唱え(デリバード)は現地時間17時の時点で587~592ドルが聞かれた。トレーダーの販売対象は多くが7月5日積み以降となった。

EXワープの380cst相場は588~590ドルと前日から4ドルの反落となり、27日の取引水準まで後退した。

**◎MARKET NEWS**
**○ポンド製品需給=5月のジェット燃油出荷 8.9%増、重油は2ヵ月連続の前年割れ**

成田、中部、関西などの国際空港で国際線の航空機にポンド(保税、無為替)扱いで5月に販売されたジェット燃料油は、石油連盟のまとめによると、前年同月比8.9%増の64万6,738キロリットルに達し、2ヵ月連続で前年実績を上回った。訪日外国人数の増加による旅客機の増便に支援された。

日本政府観光局の推計によると、5月の訪日外国人数は前年同月比31.2%増の87万5,000人に達し、5月としては過去最高だった2008年の73万6,000人を上回った。また、月間としても過去最高を記録した4月の92万3,000人、2010年7月の87万9,000人に次ぐ、過去3番目の高い水準となった。アベノミクスによる円高是正が訪日外国人数を押し上げた。ただし、出国日本人数は前年同月比11.8%減の126万2,000人とどまり、2月以降、4ヵ月連続で前年割れを記録している。

ジェット燃料油の供給のうち、ポンド輸入は前年同月を29.0%下回る3万5,481キロリットルに減る一方、ポンド生産は17.1%増の64万3,760キロリットルに増えた。

一方、5月の外航船向けポンド・バンカー(BC重油)販売は、前年同月比12.2%減の33万2,549キロリットルにとどまり、2ヵ月連続で前年実績を割り込んだ。割高な日本での給油を手控える船主が増え、需要が流出しているようだ。

**○[ベンゼン-アジア契約価格]7月積みが前月比90ドル安で決着**

JX日鉱日石エネルギーは1日、大手需要家との間で7月積みのアジア向けベンゼン契約価格(ACP)を1トン当たり1,215ドルと前月から90ドル安で決着したと発表した。国内換算想定値は1キログラム当たり125.3円で前月から12.8円安となった。

同社によるとアジア域内のベンゼン需給バランスが緩和基調となるなか、誘導品メーカーのトラブルおよび域外向け輸出の低調さがベンゼン需要の減退感を強めた。このため、需給バランスがさらに緩和するとの見通しにつながり、アジアスポット市況が急落。これを受けて、ベンゼンのACPも前月から一段下げて決着したとしている。

**○全漁連=系統向けA重油、7月前半は現行比1.0円の値下げ**

全国漁業協同組合連合会(全漁連)は7月前半の系統向けA重油価格を現行のまま据え置くと通知した。関係筋が1日、明らかにした。一方、潤滑油は現行のまま据え置き。軽油については各会員の属する地域市況を勘案し、協議の上で決定する。

**○[CFTC建玉週報 6月25日] 大口投機の原油買い越し縮小、手仕舞い売りで**

ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のエネルギー市場で市況形成に影響を持つファンドなど大口投機家の原油買い越しが過去最高を記録した前週から縮小に転じた。手仕舞い売りが先行したため、取組高(オープンインタレスト)も過去最高を記録した前週から減少した。

米商品先物取引委員会(CFTC)が28日発表したCOTレポートによると、25日時点の大口投機家の原油買い越しは27万4,474枚(1枚=1,000バレル)と過去最高を記録した前週から2万4,261枚の縮小。手仕舞い売りで買い玉が前週比で2万3,940枚も減る一方、売り玉は空売り(ショートセールス)を背景に321枚増え、手仕舞い売りが先行した。取組高は過去最高を記録した前週を5万9,593枚下回る180万9,371枚に減った。オプションを含めた買い越しは30万9,403枚と前週比で2万5,499枚の縮小。ICEヨーロッパで取引されているWTI原油先物の大口投機家の買い越しは4万5,633枚。これも手仕舞い売りが先行し、前週比で1万5,585枚の縮小となった。縮小は3週ぶり。

このほか、25日時点の大口投機家のネットポジションはガソリン(RBOB)で3万5,458枚の買い越しとなる一方、暖房油で2万9,968枚、天然ガスで8万4,187枚(1枚=1万mmBtu)のそれぞれ売り越し。ガソリンは手仕舞い売りが先行し、3週ぶりの買い越し縮小となった。暖房油も手仕舞い売りが先行し、2週連続の売り越し拡大。他方、天然ガスの売り越しは、新規買いが先行し、3週ぶりの売り越し縮小となった。

◇

RIMアジア石油製品レポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織





以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

RIM URL: [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax: (81) 3-3552-2415 e-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp) Singapore--Tel (65) 6345-9894 Beijing--Tel (86) 10-8527-1630 Fax (86) 10-6428-1725 Shanghai- Tel (86) 21-5111-3575 Fax (86) 21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717

RIM Asia Products Intelligence Daily is a copyrighted publication. No portion of this publication may be photocopied, reproduced, retransmitted, put into a computer system or otherwise redistributed without prior written authorization from RIM INTELLIGENCE CO.